

人物・キャラクターの外見から受ける 性格特性の印象と声の関係

高橋 日和

本研究では、外見から受ける性格特性の印象と適合度の高い音声にどのような関係があるのかを、被験者実験を通して明らかにする。

現在、アニメは日本の代表的な文化産業になっており、毎年多くの作品とキャラクターが生み出されている。またアニメだけでなく、様々な動画配信サイトの登場により吹き替え映画の数も増えている。アニメや吹き替え映画では、キャラクターや人物に声優や俳優といった他者が声を担当しているが、外見と声に違和感を感じることもある。

コミュニケーションにおいて、外見と声は密接な関係である。外見と声の関係について、人物の外見から、その人物の声を推定できることが明らかになっている。また、声を推定する際には、外見と音声から得られる性格特性を利用していることも明らかになっている。一方、キャラクターに対しては、外見による印象について研究がなされており、髪色、髪の長さ、目の形などが印象を変化させることが示されている。また、キャラクターの性格を表す印象語と適合性の高い声質のステレオタイプについての研究も行われている。しかし、外見から得られる印象と声質の関係については明らかになっていない。

被験者実験を行うにあたり、基本周波数と声道長が異なる様々な声質の音声と、様々な人物、キャラクターの画像を用意した。実験では被験者に人物やキャラクターの画像を提示し、外見から得られる印象を尋ねた。その後音声を聞いてもらい、画像の人物との適合度を回答してもらった。被験者実験の結果と音声の特徴とともに、外見と声の関係を解析した。

解析の結果、人物とキャラクターの両者で、性格の印象が変化することによって合うと感じる音声が変わった。また、画像の種類によって合うと感じる音声に影響を与える性格の要素が異なった。男性人物については、誠実性や情緒安定性が高い印象を受けると、基本周波数が低く、声道長が長い声を合うと感じる傾向が見られた。女性人物については、外向性が高いと基本周波数が低く声道が長い声を、協調性が高いと基本周波数が高く声道が短い声を合うと感じる傾向が見られた。男性キャラクターについては、協調性が高いと基本周波数が高く声道が短い声を、誠実性や情緒安定性が高いと声道が短い声を合うと感じる傾向が見られた。女性キャラクターについては、外向性が高いと基本周波数が高い声を、柔軟性が高いと基本周波数が高く声道が短い声を合うと感じる傾向が見られた。また、被験者のアニメや漫画を見る頻度によって、キャラクターの外見から受ける印象に有意差が見られた。

今後の課題として、キャラクターについては被験者の特性をより細かく分析する必要がある。また、今回の実験で使用した音声は、基本周波数と声道長のみが異なるものであったが、息の量や倍音バランスなどの要素を変化させた音声を用いて実験することで、より詳細に外見と合う声について分析することが可能になる。

(指導教員 真栄城哲也)